

# 平成 26 年度日本沿岸域学会講習会のご案内

テーマ： 持続的な海洋・沿岸域開発の指標

## ■講習会概要：

現在、水・食糧・エネルギーの不足は地球規模の大きな問題となりつつあります。我が国でも、東日本震災での原発事故を契機として、安全で持続可能な資源・エネルギー供給の必要性が広く議論されています。海洋、特に沿岸域は、持続可能な水・食糧・エネルギーの生産の場として大きな潜在能力を持っていますが、その利用に際しては、自然環境が持っている持続可能な供給容量を超えないような適切な管理が必要です。また、たとえ持続可能な生産が可能であっても、全く経済性が成り立たなければ実現できません。しかも、こうした持続的な“海”の利活用では“海”に関わる利害関係者間での合意形成により成り立っていく必要があります。

この講習会では、持続的な「海」の利活用という視点から、海洋の利用・管理における包括的環境評価の必要性について議論するとともに、その指標化に対する考え方や指標の見方など、知識を有する講師によって教授いただき、興味ある社会人および学生達の見識を深めることを目的としています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

■日時： 平成 27 年 3 月 9 日（月） 13：30～17：00

■会場： 日本大学工学部駿河台校舎 1 号館 122 会議室（最寄り駅はお茶の水）

■参加費： 正会員 3000 円、学生 1000 円、非会員 4000 円

## ■プログラム：

① 13：30-13：35

趣旨説明、講演者紹介など

② 13：35-14：15

『沿岸域における総合的管理の必要性と環境評価の課題』

古川 恵太（海洋政策研究財団海洋グループ主任研究員）

③ 14：15-14：55

『沿岸生態系から見た環境影響評価と保護区・漁場の管理』

清野 聡子（九州大学大学院工学研究院准教授）

④ 14：55-15：35

『沿岸域における包括的環境影響評価指標の応用事例』

佐藤 徹（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

## 【休憩 15 分】

⑤ 15：50-17：00

パネルディスカッション『持続的な海洋・沿岸域開発の指標』

コーディネータ：村井 基彦（横浜国立大学大学院環境情報研究院准教授）

パネリスト：古川 恵太（海洋政策研究財団海洋グループ主任研究員）

：清野 聡子（九州大学大学院工学研究院准教授）

：佐藤 徹（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

## ■申し込み方法（会費は当日徴収致します）

- ・平成 27 年 3 月 2 日（月）までに氏名、所属、会員種別、連絡先（TEL、E-mail）を記載の上、メール（[info@jaczs.com](mailto:info@jaczs.com)）にてお申込下さい。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-1-10 第 2 虎の門電気ビルディング 4 階

（一財）みなと総合研究財団内 日本沿岸域学会 事務局（担当：阪本）

E-mail：[info@jaczs.com](mailto:info@jaczs.com)

TEL.03-5408-8295

本講習会は土木学会 CPD プログラム  
（JSCE-0000/申請中）  
に認定されています。

